

## 臨床研究へのご協力をお願い

### 【自主臨床研究表題名】

ペインクリニック外来における「頭痛専門外来」の受診実態

### 【研究目的】

当院は2017年にペインクリニック外来のなかに頭痛専門外来を併設しました。頭痛外来を開設して約5年が経過した現在、徐々に頭痛外来の認知度が高まり、現在は多くの頭痛患者さんが受診するようになり、頭痛でお困りの患者さんがとても多いことが分かりました。頭痛診療を行う中で、過去に医療機関を受診していても適切な診断がなされず、十分な治療を提供されていない場合が多いことを実感しています。頭痛はありふれた疾患ですが、患者さん自身は頭痛を治療できる病気であると思っていない場合もあります。さらに、市販の薬（OTC医薬品）で対処して、鎮痛薬を飲みすぎている場合も多く、このことに患者さん自身が危機感を感じて頭痛外来を受診する場合があります。薬剤師に勧められて当院を受診するケースも増えてきました。当院の頭痛外来は児童・思春期の頭痛患者さんが比較的多く受診することも特徴です。慢性連日性頭痛になり不登校になっている場合や発達障害といった併存症が見つかる場合もあり、公認心理師と連携して難治性頭痛にも積極的に取り組んでいます。当院の頭痛外来の受診実態を把握して現在の頭痛診療の問題点を明らかにしたいと思います。

### 【研究方法】

2017年6月から当院の頭痛外来を受診した患者さんを対象とします。調査する内容は、頭痛患者数、頭痛の診断名、年齢、性別、受診経路、紹介を受けた診療科、医療機関受診歴の有無です。また調査機関を前期と後期の2群に分けて、片頭痛患者割合の変化、年齢層分布の変化を調査します。さらに、18歳以下の群を抽出し、慢性連日性頭痛、不登校、神経発達症・精神疾患の割合の有無、公認心理師介入の有無を調査します。これらの調査項目を電子カルテから集積します。なお、本研究は八戸平和病院倫理委員会の承認を得て行います。

### 【個人情報の取り扱い方法】

利用する情報からは、名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### 【研究参加による利益・不利益】

電子カルテのデータのみを用いて研究を行うため、患者さんに負担はかかりませんし、不利益はありません。また、データを提供いただいた患者さんに特に利益は生じません。

### 【お問い合わせ】

研究責任者：石川理恵（八戸平和病院 麻酔科・ペインクリニック）

電話：0178-31-2222